

「大阪モノレール堺方面延伸に関するシンポジウム」

アンケートとりまとめ

<主なご意見>

- 鉄道整備の重要性を認識する機会となった。
- 京阪神の環状ネットワークにおける大阪モノレール延伸の重要性を改めて認識した。
- 人口減少による働く世代の減少社会でも、経済発展できる都市構造をつくるために投資が行われることを期待したいと思った。
- 堺方面延伸の意義が見えてきたと思えた。延伸が進めば堺は発展できると思うが、南大阪全体の発展にもつながると確信した。
- 藤井先生の話はわかりやすく、ユーモアある個性的な講演だった。
- 東大阪市の延伸実現に向けた新駅周辺の施設誘致などの取組みは、大変興味深かった。
- 国の位置づけも同時に考えなければ、具体化は難しいことがわかった。
- 延伸時には大型ショッピングモール等の若者が集える場所ができるとありがたい。
- 大阪の北部に住んでいるものとして、南部の状況を知るいい機会となった。
- モノレールが大阪中央環状線を通るのなら、堺東へのアクセスに難が出るので、その対策の必要性を感じる。
- 堺市の長年の課題であった東西鉄軌道整備の機運が再び高まっていくきっかけとなってもらいたい。
- モノレールの地震への弱さ、中長期的に中量交通で特に堺区間の需要をまかなえるかは、よく考えてもらいたい。
- モノレールの型式については、日本式やアルヴェーグ式など、さまざまな可能性を検討すべき。

<主なご質問に対するQ A>

Q いつ頃の開業を目指しているか。

A 現在、門真市から瓜生堂までの事業が進められておりますが、堺方面延伸の事業化についても早期に実現されるよう、関係者と協力して取組んでまいります。

Q 人口減の大阪での鉄道投資は問題ないのか。

A 基調講演でもありましたが、鉄道への投資が都市発展のきっかけになると考えられます。延伸計画については、その事業費や整備効果、他路線との影響等を考慮し、慎重に検討する必要があると考えております。

Q 堺方面の延伸について、設置予定駅は他の既存駅との接続は考慮しているか。

A 具体的には今後検討することとなりますが、既設区間において他路線との接続が利便性向上につながっており、延伸区間についても同様の接続を前提に検討する必要があると考えております。

Q 堺市区間を先に着工してはどうか。

A 堺市内区間から先行して整備することは、事業に要する建設財源が確保されること、当該区間のみで事業採算性の確保が見込まれること、運営主体が確定できることなどの課題を解決できることが条件になると考えております。今後も今回のシンポジウムなどの機運醸成を図り、事業化への道筋へとつなげていきたいと考えております。

Q 地震時の対応・対策について教えてほしい。

A 地震時の対応につきましては、大阪高速鉄道株式会社のホームページ等をご確認ください。本市としましても、災害時の対応等について今後も注視し、検討していく必要があると考えております。

Q 以前あったLRT計画と、今回のモノレールは同じ場所か。

A 大阪モノレールは、大阪府域を環状方向につなぐ鉄道ネットワークとして大阪中央環状線に計画されたもので、堺方面延伸においてもその方針を踏襲する必要があると考えております。したがって、以前のLRT計画で想定された大小路線とは異なっております。

※新幹線に関するご質問については、シンポジウム開催の主旨と異なることから、回答の掲載を控えさせていただきます。